

株式会社エフ・ピーアイ 代表取締役社長 <sup>ふじさき としあき</sup> 藤崎 俊晃 氏

## 年間1000件の消防設備点検を担当。 施設の安全・安心をサポート



### PROFILE

1974年生まれ、新潟市出身。北越高校を卒業後、岩手県の富士大学に進学。卒業後の1997年、北越キャタピラー三菱に入社し営業を担当する。2000年、有限会社フジサキ防災（現エフ・ピーアイ）に入社。独学で消防設備士・電気工事士などの資格を取得する。創業者である父が他界し、2010年、代表取締役社長に就任。2014年には新潟市消防設備業連絡協議会より「優良消防設備会社」として表彰される。

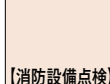
消防設備点検を主力とするエフ・ピーアイは、顧客の要望に応える中で技術力を高め、消防・電気・空調各設備の工事や修理も行うなど、施設の安全・安心をトータルでサポートしています。直接受注ができる会社を目指し、経営改革に取り組んできた藤崎社長にお話を伺いました。



### 株式会社エフ・ピーアイ

〒950-1135 新潟市江南区曾野木2-16-17  
TEL : 025-284-8640  
<https://www.f-pi.jp/>

会員企業紹介サイト 株式会社エフ・ピーアイ掲載ページ



【消防設備点検】



【電気設備工事】

たとえ簡単な仕事であっても決して軽く扱わず、お客様が求めていることをできる限り早く実現することを大切にしています

## お客様の要望に迅速に対応できることが強み

テナントビルや病院、学校など各種施設の消防設備点検を専門に、電気・空調設備の設置工事や修理なども手掛けるエフ・ピーアイ。新潟市内を中心に年間1000件以上の消防設備点検を行う同社は約10年前から営業力を強化し、エンドユーザーとの直接取引を増やしてきた。「この業界は元請けが管理し、下請けが施工するという形がほとんどですが、当社は直接受注した仕事を自分たちで施工するので、お客様と話が通じやすい。すぐに対応できるのが評価されてきた点だと思っていますし、当社の強みでもあります」と藤崎社長は語る。

## 専門家による継続的な支援で経営の課題を解決

徐々に実績を伸ばしていった背景には、商工会議所のさまざまな支援事業の活用もあった。「私が代表になった当時はまだ33歳で、責任の重さを感じていました。そこで商工会議所さんなら多方面の相談ができるのではと思い、サポートをいただくようになったのです」。

中でも経営改善の足掛かりになったのが、「建設サポートセンター<sup>\*</sup>」事業の専門家派遣だった。建設業に詳しい中小企業診断士から財務分析や経営革新、販路拡大などについてアドバイスを受けるようになったことで、直接受注ができる会社へと変化していった。「自分の足元がはっきりと見えるようになりました。時には厳しい指摘もありますが、客観的に会社を見ていただける方からアドバイスを受けら



施設内にある消火用散水栓を点検。消防設備点検は消防法を熟知した国家資格者が担当。同社は消防設備士、電気工事士など、業務に必要な技術資格の取得に向けた社員教育制度も充実している。

れることはなかなかないので、今も継続的にご指導をいただいています」。

## クオリティーの高い仕事を提供し若手技術者を育てたい

今年度は国土交通省の「地域建設産業 生産性向上・事業継続」支援事業の採択を受け、ICTを活用した施工管理の効率化に取り組んでいる。例えば、「感知器が故障した」というお客様から故障機器を撮影した写真をLINEで送ってもらうことで、現場に行かなくても迅速な見積りが可能に。新型コロナウイルスの影響で、外部との接触を極力避けたい病院や老人福祉施設などから好評で、将来的なニーズも高まると予想している。

今後はお客様の要望に「プロとしてクオリティーの高い仕事を提供したい」という藤崎社長。「そのためにも若手の技術者を育てていきたいです。建設業は若い人に避けられているようですが、技術職は今後もなくならない。団塊の世代がいなくなり、技術者が少なくなっている現状を踏まえると、これから伸びる職種ではないかと思うのです」と、将来を担う人材の育成に力を入れながら、これからも施設の安全を支え続ける。



LINEで故障機器の写真を送ってもらうことで、外部との接触を極力避けたい施設での迅速な交換作業や見積りが可能となり好評だ。

<sup>\*</sup> 新潟県建設サポートセンター  
詳細はコチラ

